

平成 25 年度 第 3 回 学校協議会報告

平成 26 年 1 月 28 日 (火) 14:00~16:00 於：本校会議室

- 1 委員 学校医・産業医、企業総務部長、大学名誉教授、近隣中学校長、地元自治会長、私立高等学校大阪学習センター長、PTA 会長
- 2 事務局 校長、事務部長、教頭、首席、総務部長、グループ長（系列長）
- 3 内容 (1)校長挨拶および本校教育活動の報告
 - ・最近新聞掲載された本校の取組み（修学旅行で農業体験、写真芸術部の活躍、太陽光発電 LED 野菜水耕栽培、生徒と教員リヤカーの旅へ、野茂氏が野球殿堂入り）
 - ・最近の学校の様子（学校説明会に多数参加いただいている、応募希望数について）
 - ・本校の目標：生徒たちが安心して暮らせる学校
 - ・6 月頃から耐震工事が始まる（グラウンドに仮設校舎）(2)本校のかかえる諸課題について協議

4 おもな協議

(1)平成 25 年度学校教育自己診断について

- ・保護者の評価が低い項目＝「施設・設備が充実している」「子供さんは授業がわかりやすい・・・」
- ・生徒の評価が低い項目＝「授業がわかりやすく楽しい」「先生は～秘密を守ってくれる」
- ・授業がわかりにくいことが課題→1 年に科目別アンケートをし、到達度別展開授業等を検討する
- ・秘密を守ることに・・・信頼されるように取り組む
- ・アンケートの信頼性についての検討

保護者・・・「参加したことがありますか」に「わからない」の回答をする場合は信頼性低い
→信頼性の低いデータ（用紙）は集計しないでよい。

生徒・・・「秘密を守ってくれる」の 2 つの質問に対して同じ回答分布なので、信頼できる。

- ・保護者用の選択肢で「よいと思う」では、答えにはならない質問がある。→質問を工夫する。

(2)学校経営計画・自己評価について（平成 25 年度と平成 26 年度を比較しながら協議）

- ・中退の大幅減を達成・・・（要因）学び直し、停学減・遅刻減で授業に参加→成績不審者減
- ・生活指導と学習指導（授業）は学校の 2 本柱→生活指導は成果をあげてきたので、次は授業改善
- ・授業中の私語のないように、きちんと授業を受けるように指導している。
- ・生徒の発表や意見交換、グループ学習などで成果を上げている学校もある。
- ・中学校・・・習熟度別のため人員配置され、ティームティーチングや 2 クラスを 3 展開など検討
- ・基礎ができていない。本を読まず言語力が低下している。→レポートや説明をさせる取組み
- ・昔は専門性を高めることで人間形成できたが今は生徒の質が変わった。→若手教員の育成を
- ・学校全体が変わりつつあることを生徒に感じてもらう・・・新聞やテレビは非常に有効
- ・修学旅行や水耕栽培が新聞掲載された→その後の取組みを広げていく。文化祭での発表等
- ・選ばれる高校・・・①通いやすい②安心して暮らせる③話題性（マスコミ、懸垂幕、部活動）
- ・早朝学習を続けてほしい。高校に入り毎日朝から登校するようになった。（近所の人注目）
- ・世間一般に、就職よりも進学の方が優れている意識があるが、大卒でも就職に苦しんでいる
- ・本校では、優秀な生徒も就職しているので、進学が優れているという意識は少ない。
- ・学び直しでレベル分けがあっても、優越感や劣等感なく課題の達成感に満足しているようだ。